

とうじんきょうの春

Tojinkyo

SSKA



No.206・2015 4.15

おもな記事

特集／2014年版…………… 1
 患者会・個人会員実態調査アンケート
 とうじんきょう 活動のまど…………… 10
 患者会を訪ねて／にこたま会…………… 16



ナプキン立て



コースター



状差し

斉藤寿江さんの
木彫りの作品

 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
http://www.toujin.jp/ E-mail info@toujin.jp

NPO法人東京腎臓病協議会

第10回総会のご案内

第4回総会で決定したとおり、NPO東腎協定款に遵守し、正会員のみで第10回総会を左記のとおり東京都障害者福祉会館において開催します。

記

日時 2015年6月14日(日) 午後12時30分開場 ※正会員のみ

会場

東京都障害者福祉会館・A1\2

所在地〒108-0014 東京都港区芝5丁目18-2

電話 03-3455-6321 FAX 03-3453-6550

交通機関

・JR山手線・京浜東北線 田町駅下車徒歩5分

・都営地下鉄浅草線 三田駅A7出口徒歩1分

・都営地下鉄三田線 三田駅A8出口徒歩1分

※参加者は議案集を必ずご持参下さい。

NPO法人東京腎臓病協議会

第5回大会のご案内

記

日時 2015年7月19日(日) 午後12時30分開場 ※会員となたでも参加

会場

NPO法人東腎協第5回大会(11時00分から14時20分予定)

アルカディア市ヶ谷(私学会館) 電話03-3261-9921(代)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号

交通機関

・地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1またはA1) 出口から徒歩2分

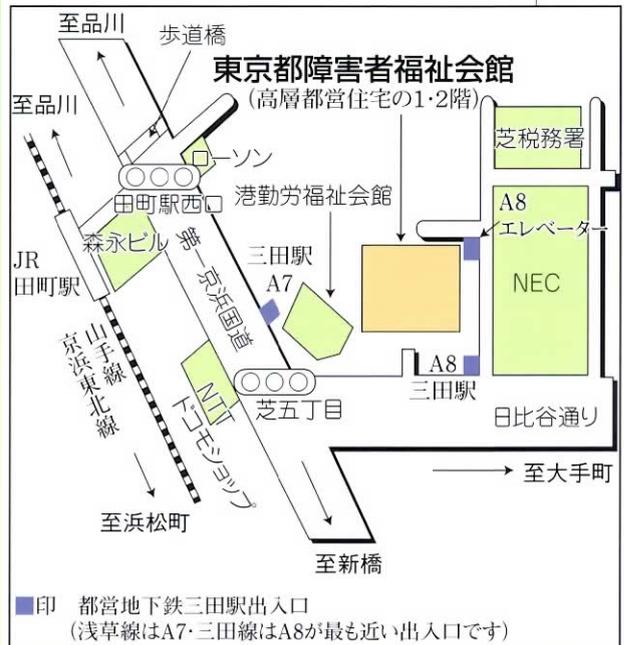
・地下鉄新宿線市ヶ谷駅(A1またはA4) 出口から徒歩2分

・JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

記念講演

午前11時10分～12時40分

透析患者のリハビリ運動療法と透析患者に役立つ運動について現役の看護師さんをお招きして講演を開催予定。



患者会・個人会員 実態調査アンケート集計結果



NPO東腎協第9回総会参加の正会員



2015年第44回国会請願



東京都障害者福祉会館

2014年秋、NPO東腎協の112患者会（休会を除く106患者会）と個人会員272名を対象としてアンケート調査を行いました。
今号では、アンケートの調査結果と今後の活動への問題提起を特集いたしました。

調査の目的

①個人会員に対しては、個人会員の皆様の入会の動機やお持ちになっているスキルの確認
・東腎協活動への要望などを調査いたしました。

調査実施概要

②患者会に対しては、該当施設での組織率や患者会活動の実態・名簿の作成状況・年間予定表の有無・会費の価格調査・病院との関係の実態・東腎協活動への要望、などを調査いたしました。

①実施時期…2014年秋
②実施数は個人会員272名と患者会106団体を対象といたしました。
③回答数は個人会員118名43・4%、患者会は75団体70・8%の回答をえました。

2014年度版

目次	特集		
	2014年版 患者会・個人会員 実態調査アンケート集計結果 …	1	
	リレーエッセイ ……	9	
	活動のまど ……	10	
	私と東腎協⑨ ……近藤儀明	14	
2016号			
	⑩ ……田崎 勲	15	
	わたしたちの患者会④⑥…にこたま会	16	

なかまのたより ……	17
施設紹介⑩	
武蔵野総合クリニック・練馬 ……	20
事務局から ……	23
編集後記／表紙のことば ……	24

患者会実態調査アンケート報告

患者会の組織・規模と
規約などについて

あなたの施設の総透析患者数を
教えて下さい(別表1)

(回答数62 無回答13)

あなたの施設の患者数と
会員数を教えて下さい(別表2)

(回答数62 無回答13)

患者会役員会を
開催していますか(別表3)

(回答数70 無回答4)

会員数が多いほど組織率が高い状況が見受けられます。会員が多いから患者会が盛んなのか、患者会活動が積極的なので会員が多いのか、指導者の問題なのかなど、今後理由を整理し、東腎協の会員対策の基本といたしたいと思えます。

患者会実態調査アンケート集計

2014. 11. 19

調査票回答数 (75/106. 70.75%)

総患者数と会員数分布 (有効回答62、無効回答13)

- ・ 総患者数に対する会員数比率
- ・ 総患者数7330人 (有効回答62、無効回答13)
- ・ 総会員数2916人 (有効回答62、無効回答13)
- ・ 平均組織率39.78%

表1. あなたの施設の総透析患者数を教えて下さい (回答数62、無回答13)

患者数	6~30	31~99	100~149	150~199	200~299	300以上	無回答	合計
施設数	4	20	21	8	8	1	13	75

- ・ 総透析患者数は31~149人 (41施設) が54.67%で過半数である。

表2. あなたの施設の患者数と会員数を教えて下さい (回答数62、無回答13)

会員数	1~9	10~29	30~49	50~69	70~99	100以上	無回答	合計
施設数	9	11	15	15	7	5	13	75
会員数	52	268	593	866	553	584		2,916
総患者数	496	876	1,635	1,988	1,230	1,105		7,330
組織率%	10.48	30.59	36.27	43.56	44.96	52.85		39.78

- ・ 70人以下の患者会 (50) が66.67%を占めるが、平均組織率では35.62%となっている。
- ・ 50人以上の患者会 (27) は16.9%であるが、平均組織率は46.84%となっている。

表3. 患者会役員会を開催していますか (回答数70、無回答4)

A. 回/年 B. 毎月 C. 必要時 D. その他

年1回	年2回	年3回	年4回	年6回	年9回	毎月	必要時	その他	無回答	合計
3	3	6	7	6	1	4	30	10	4	74

- ・ A (年数回) 及びB (毎月) の定期的開催は41.33%。
- ・ Cの必要時を含めると81.33%が何らかの役員会をしている。

表4. あなたの患者会に規約はありますか (回答73、無回答2)

A. ある B. ない

A	B	無回答	合計
59	14	2	75

- ・ 78.67%の患者会 (59) が規約を持っている。
- ・ 規約の無い患者会 (14) が18.67%あるが、内5人以下のグループが7患者会ある。

あなたの患者会に
規約がありますか (別表4)

(回答73 無回答2)

78・67%の患者会が規約を作り活動している。反対に18・67%(無回答有)の患者会が規約を持たないで活動していることになります。ただ持たない患者会でも半数は規約の必要性を感じていることを表明していますので、それぞれの患者会に即した規約を作るように東腎協・ブロックとしても協力いたしたいと思えます。

会の概要と運営、 行事などについて

あなたの患者会に
患者会名簿はありますか (別表5)

(回答72 無回答3)

名簿はどのような内容を
記載していますか (別表6)

(回答57 無回答18)

規約と同等の名簿の所有率でありました。いわゆる規約と名簿はほぼ一体的?と思えます。東腎協としては最低限の連絡先の把握は必要と(災害時の実態把握と災害見舞金支給などで必要)思っております。東腎協も患者

表5. あなたの患者会に患者会名簿はありますか (回答72、無回答3)

A. ある B. なし

A	B	無回答	合計
59	13	3	75

・患者会名簿は78.67%が持っており、規約と名簿は一体的であると見える。

表6. 名簿はどのような内容を記載していますか (回答57、無回答18)

A. 名前 B. 連絡先 C. 透析歴 D. 住所 E. 生年月日 F. その他

A	AB	ABCD	ABCDE	ABD	ABCDF	ABDE	ABDF
13	1	5	12	9	1	3	2
ABCDEF	AC	ACDE	ACDF	ACF	AD	無回答	合計
3	1	1	1	1	4	18	75

- ・名簿の内容は名前(A)だけが17.33%
- ・名簿の内容は名前、住所(AD)が54.67%
- ・名簿の内容は名前、連絡先、住所(ABD)を46.67%が把握している。

表7. あなたの患者会の会費はいくらですか (回答69、無回答6)

単位:円

5400~6000	6100~7000	7100~7400	7500~8000	8100~9000	10000以上	無回答	合計
26	19	13	6	3	2	6	75

- ・平均会費は6537.9円/年(月平均/545円)である。
- ・患者会会費は1137.9円/年(月平均/95円)である。
- ・7400円以下(58)が84.05%である。

表8. あなたの患者会では行事を行っていますか (回答74、無回答1)

A. 行う B. 行わない

A	B	無回答	合計
56	18	1	75

・行っている患者会(56)は74.67%である。

① (行わない理由・回答17、無回答1)

A. 役員がない B. 患者の高齢化 C. 資金がない D. 方法が不明 E. その他

A	AB	ABC	ABE	B	BC	C	E	無回答	合計
1	2	1	2	2	2	1	6	1	18

- ・役員がないとする理由(A)が6患者会で35.29%
- ・患者の高齢化を理由とする(B)が9患者会で52.94%
- ・(A)もしくは(B)の理由で行わない10患者会が58.82%

会も管理責任を会員に対し明確にして、名簿を作るようにする必要を感じておりますので、今後の課題といたしたいと思います。

あなたの患者会の会費はいくらですか(別表7)

(回答69 無回答6)

各患者会は、東腎協・全腎協の会費としては5400円であることは均一であります。患者会活動としては固有の会費の設定で活動しております。結果、同じ東腎協会員としても会費がまちまちという結果となっております。各患者会の活動内容に格差がある以上患者会会費の均一化は不可能であるわけです。また会員であっても個人会員と患者会会員ではさらに料金上の違いが生じています。可能であれば患者会活動も活性化を図り、会費はこの会員であっても負担が少なく同一であることが望ましいと感じますが、困難な課題であります。

あなたの患者会では行事を行っていますか(別表8①②)

(回答74 無回答1)

あなたの患者会の行事内容を教えてください(別表9)

(回答57 無回答18)

74・67%の患者会が何らかの形で患者会活動を行っています。反対に24%の患者会が活

②(行事を行いたいと思っている患者会・回答27、無回答48)

A. 行いたい B. 行いたいと思っていない C. その他

A	B	C	無回答	合計
18	9	0	48	75

- ・18患者会が行事を行いたいとしており、何らかの活動が必要である。
- ・行いたいと思っていない9患者会の理由について確認する必要がある。

表9. あなたの患者会の行事内容について教えてください(回答57、無回答18)

A. 総会 B. 新・忘年会 C. 旅行会 D. 講演会 E. 食事会 F. 懇談会
G. 運動会 H. その他

A	AB	ABC	ABCD	ABCDE	ABCDEF	ABCDH	ABCFH
3	3	3	2	3	1	4	2
ABCDFH	ABDEF	ABDFG	ABD	ABDE	ABCH	ABEH	ABH
3	1	1	1	2	2	1	2
ABE	ACDE	ACD	ACE	AD	AEH	BCD	BD
1	2	3	2	1	1	2	1
BE	CF	E	F	ABC F	ABDH	無回答	合計
1	1	2	2	3	1	18	75

- ・総会(A)を共通行事とするのは48患者会で64.00%。
- ・年間4回以上の行事を開催している患者会は28で37.33%である。

表10. あなたの患者会に年間予定表はありますか(回答71、無回答4)

A. ある B. ない

A	B	無回答	合計
28 (37.33%)	43 (57.33%)	4	75

- ・年間予定表を持っている患者会は37.33%で少ない。
- ・役員不足、高齢化などから計画立案者がいないか、企画が固定化している恐れが窺える。

表11. あなたの患者会と病院との関係は良好ですか(回答72、無回答3)

A. 非常に良好 B. まあまあ良好 C. ほとんど非協力 D. 非協力 E. 険悪

A	AB	B	BC	C	D	無回答	合計
16	3	43	1	6	3	3	75

- ・良好(A. B)は84.00%で、ほとんどの患者会が病院と良い関係を持っている。
- ・非協力的な関係には適切な援助、アドバイスが必要である。

動していない実態が分かりました。活動して
いない患者会は最低限の活動費の（会費）徴
収で運営されていると思います（会費を徴収
して活動しないわけにはいかないのです）。活
動しない理由は役員がいらない・患者および役
員の高齢化が理由であります、この理由は
すべての患者会や透析患者の実態であります。
ただ、実施していない患者会でも活動の必
要性を感じている会がありますので、東腎協
・ブロックも協力して対策する必要があります。
隣接する患者会と共催で行事を行う、な
ども患者会が活動する方策の一つであると思
えますが、十分な調整が必要であると感じま
す。

**あなたの患者会に
年間予定表はありますか**

(別表10)

(回答71 無回答4)

年間予定表を作り運営している患者会は37
・33%と想像以上に少ないと感じました。最
も年に1〜2回程度での活動ではその必要性
を感じない、ということもあるのでしょうか。
しかし患者会としての活動は年に1〜2度
であっても、東腎協・全腎協の活動を加えれ
ば年に最低でも5〜6回の活動があるわけ
です。東腎協・全腎協の活動に理解を得るため
にも、年間活動予定表は必要のように思えま
す。

表12. 病院との協力関係の内容を教えてください (回答71、無回答4)

A. 協力金 B. 患者会事務所 C. 会議室 D. 掲示板 E. 新患情報
F. スタッフと旅行・新、忘年会 G. 勉強会協力 H. その他

ABCDEFG	ABCDG	ACDF	ACDEFG	ACDFG	ACDG	ADEFG	ADFG
1	1	1	2	1	1	3	4
AD	ADG	AG	B	BC	CD	CDEF	CDEFG
1	1	1	1	1	2	2	2
CDEG	CDF	CDFG	D	DE	DEFG	DF	DFG
1	2	5	11	3	4	1	6
BCDF	DGH	DH	G	GH	H	DG	無回答
1	2	2	2	1	4	1	4

- ・病院内の掲示板は61患者会（85.91%）で設置されている。
- ・協力金は17患者会（23.94%）で授与されている。
- ・会議室は21患者会（29.57%）で貸与されている。
- ・施設スタッフ等との旅行・新、忘年会は33患者会（46.48%）で行われている。
- ・勉強会等への協力は36患者会（50.70%）で行われている。
- ・新患情報は18患者会（25.35%）で得られている。
- ・掲示板は14患者会（18.66%）で置かれていない。

表13. あなたは東腎協のブロック制を知っていますか (回答72、無回答3)

A. 知っている B. 知らない

A	B	無回答	合計
66 (88.00%)	6 (8.00%)	3	75

表14. ブロック役員に相談したいことがありますか (回答55、無回答20)

A. 相談したいことがある B. 相談することない

A	B	無回答	合計
12 (16.00%)	43 (57.33%)	20	75

表15. 患者会の行事に東腎協役員の出席を望みますか (回答59、無回答16)

A. 望む B. 望まない

A	B	無回答	合計
33 (44.00%)	26 (34.67%)	16	75

あなたの患者会と

病院の関係は良好ですか (別表11)

(回答72 無回答3)

病院との協力関係の内容を

教えてください (別表12)

(回答71 無回答4)

病院施設との関係の問いであります。84%が良好な関係で協力的であることが分かり、安心いたしました。ただ非協力的な施設も12%ありますので、東腎協として改善に協力できることがあれば協力すべき課題であります。ただこの問題は患者会と施設との歴史的な問題もあるようですので、その経緯を理解した上での対策が必要と感じます。

東腎協のブロック制を

知っていますか (別表13)

(回答72 無回答3)

ブロック役員に相談したい

ことがありますか (別表14)

(回答55 無回答3)

患者会の行事に東腎協役員の

出席を望みますか (別表15)

(回答59 無回答16)

東腎協の活動がブロック制で行われていることや、行事に東腎協の役員の出席を望むか

の質問であります。ブロック制の活動は88%の患者会が理解しており比較的周知されていることが分かりました。ブロックに相談したいことがある患者会は16%と少数であります。望まれておりますので、早速相談をいたしたいと思えます。

これからは東腎協・ブロックの活動を患者会にどのように理解いただき、同時に東腎協・ブロックは患者会をどのように理解して活動していくかが求められております。

東腎協の役員が患者会の行事に出席を望む声も44%であります。今後東腎協・ブロックは患者会と連携を深め、対策する必要があります。

患者会実態調査に寄せられた メッセージ

- ・年会費の値下げ
- ・高齡化による会員減、組織拡大できない
- ・講師の派遣
- ・会員減対策
- ・東腎協の活動が不明
- ・ブロックのメリットに疑問
- ・会報の充実
- ・大会への要望
- ・メッセージを整理すると、会員の勧誘策に困難さがある25件、活動への要望7件となる。

仲間を一人でも増やす

ことの大切さを確認

8年ぶりに個人会員会議開催

日時…3月1日(日) 13時30分
場所…主婦会館(四谷Fプラザ)
参加者…個人会員22名、理事8名(藤田、小野、戸倉、須賀、酒井、坂本、田崎、板橋)、オブザーバー2名(工藤、長井)

「270名の個人会員を 倍へ増やそう」と報告

8年ぶりに開催された個人会員会議は、戸倉副会長の開会の挨拶の後、予定された議案の報告・討議がされた。

①14年秋に行われた「個人会員アンケート」の集計結果報告(7ページ参照)を小野副会長が行った。

「その内容は、東腎協として個人会員の皆様から頂いた会費の使用状況は、皆様への機関誌の送付等の直接費用はまかなわれていても、東腎協の家賃・活動費などの負担までには至っていないのが現状であります。言い方を変えると、個人会員270名では間接費を負担しきれない状況です。会員数を倍増させ

東腎協●患者会・個人会員 実態調査アンケート 集計結果報告

個人会員アンケート報告

①年齢構成 年代(人数)

20代(1)	30代(2)
40代(14)	50代(18)
60代(38)	70代(29)
80代(6)	無回答(10)
合計(118)	

平均年齢61・52歳。透析患者の平均年齢は67・20歳(透析医学会調査2013年12月末)でありますので比較的若い方で構成されていることとなります。

②透析歴 年数(人数)

5年以内(12)	5～10年(17)
11～15年(16)	16～20年(22)
21～25年(15)	26～30年(6)
31～35年(7)	36～40年(4)

40年以上(5) 無回答(14)
合計(118)

平均透析年数は18・43年

40代前半での透析導入の実態となります。透析歴16～20年以内の方が22名と最多であります。25年に近い人も多くおられますので、これから長期透析へ向けて努力願いたいものと思えます。

2013年12月透析医学会の透析歴調査では、5年未満は14万4659人。5年～10年未満は7万6833人。10年～15年未満は3万9364人。15～20年未満は2万7777人。20～25年未満は1万1382人。25年以上は1万2728人です。

また同会の調査では透析歴最長の方は45・7か月ですので40年以上の方は頑張って頂き



あいさつする藤田会長

るために努力を共にしましょう」との報告であった。

②東腎協、東京都の災害対策の報告を戸倉副会長(東腎協災害対策委員長)がマニュアルに従って行った。想定される災害と東京における被害想定、交通インフラやライフラインの影響、透析患者への影響(移送、自助)など災害対策の基本姿勢についての内容だった。

グループ討論で日常活動の 悩みなどを共有

今回の個人会員会議は、質疑応答等を含めて地域ごとに4つのグループに分かれて約1時間グループ討論を行った。初めてお会いする会員も多く、まずは自己紹介をして、東腎協に思うこと(質問、意見)などを伺った。多くの参加者から「仲間を増やしたいがどうしていいかわからない」「みんな関心を持つ

たいと思います。

③ 個人会員への入会の動機（複数回答）

A… 通院の病院に患者団体がない（75）

B… 患者会が無くても個人として活動した

い（19）

C… その他（23）

AとB（4） AとBとC（1）

AとC（1） 無回答（4）

合計（123）

合計から無回答は除く

患者会が無くても病気の情報収集・会員としての活動を目指す方が主であります。会員組織率は15%を切り入会率が低下したのは、透析医療費助成制度が行きわたり入会の動機が薄くなったこと（問題意識の低下）が問題提起されています。その点個人会員として入会を望まれた方の積極性が評価されます。

④ 会議への参加

個人会員会議を開催したら参加いただけ
ますか。

A… 可能（53） B… 不参加（54）

C… どちらでもない（7）

無回答（4） 合計（118）

参加不参加が半々であります。後ほどに記
載されている通り、具体的要望があります。

⑤ 個人会員が所有しているスキルについて

スキルを発揮することは

A… 可能（21） B… 不可能（84）

無回答（13） 合計（118）

東腎協では理事やアルバイトで事務局の事務を処理していますが、個人会員の方が所有しているスキルを東腎協で発揮していただけないかと思いいこの調査をいたしました。可能な方は21名の17・8%であった。そのスキルのおもな内容は

パソコン（9名） 経理（2名） 管理（2名）
広報（3名） イベント（3名） などです。

現在東腎協は機構改革・組織改革・活動方針の見直し等を行っております。可能と回答いただいた方とは、これらについての意見を
含め順次面談を予定しております。

⑥ 個人会員からの要望

- ・ 広報対策の強化（パンフ・チラシ
などの配布・会報の充実）・・・7名
- ・ 会費が高い（会員メリットがない）・・・2名
- ・ 活動に寄与したい・・・3名
- ・ 体調不良で活動・協力不可・・・17名
- ・ 相談窓口や機関誌に
質問コーナーの設置・・・2名

てくれない」など、日常の会員増強活動の悩
みや質問が多く出された。

また、かつて患者会が在ったところなどで
は、チラシやポスターなどを置けるように病
院側（事務局）にお願いし、まずベッドの両
隣から声をかけて入会をお願いするなど、仲
間を一人でも増やすことの大切さを話し合っ
た。具体的な患者会設立の相談に発展しそ
うなクリニックもあった。

一人でも多くの仲間を 増やして

グループ討論の後、各グループ長からグル
ープ討論の内容を報告してもらい、総括とま
とめとして藤田会長が「個人会員さんがいて
こそ患者会設立の可能性が出てくる。一人でも
多くの仲間をふやそう」と激励と訴えをし
て個人会員会議は無事終了した。



グループ討論する参加者の皆さん

リレー エッセイ

2010年11月に人工透析の導入以来すっかり脚力が衰えてしまった。通院先のクリニックでは最近まで歩いていただけの方が車椅子を使用する姿を見かけるようになった。

生まれたときから 黄疸に

終戦三日前にこの世に生まれたときに黄疸になっており、手術をなさった医師から「お子さんは中学生までの寿命ですね」と言われ、両親は大変落胆したと幼いころに聞いた。食糧、医療、物資の少ない時代で両親の子育ては並大抵ではなかったろう。

やがて小学校に入学し、六年間無遅刻無欠席で卒業した。五年生の時に、父の影響で所轄の警察署で柔道のけいこを始めて、高校、大学はラグビーに明け暮れの日々

衰えた脚力を歩行訓練で回復めざす

であった。

60歳過ぎから 筋力の衰えを感じ

社会人になり多忙な日々を過ごし、たまに社内対抗野球やボーリング大会に参加する程度でスポーツには無縁となり移動は車と、60歳前後から筋力の衰えを如実に感じた。毎週屋内プールで水中歩行を始めたが、平成22年11月に、かねてから通院していた東京女子医科大学病院の腎臓内科の教授より透析導入の宣告を受け、同月に導入に踏み切った。

二カ月にわたる入院生活の間、

院内散歩や階段の昇降をして筋力の衰えを遅らせたつもりでいた。

退院後、道路をイザ歩くと息は苦しく、足は腰から下に苦痛を覚え一気に100歩を歩けなかった。

自分自身が不甲斐なくなつた。学生頃はあんなにスポーツに明け暮れたことは無駄だったのか。いやいやそれが有つたからこそ、この程度で済んでいるのだと自分に言い聞かせて、心の中で「イチ、ニイ、サン」と掛け声をかけて歩行している。

スーパーマーケット往復1km、花の苗を購入するために往復2kmと目的を持って歩いているうちに、訓練の効果があつてか拙宅から大

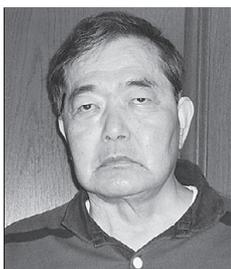
泉学園駅までバス停にして6停留所分、往復で4kmの歩行が出来た。体調によつて息が上がってしまうこともあるが、「継続は力なり」をモットーにこれからは降雨、降雪日以外はなるべく歩行訓練を継続し、歩行距離を伸ばす努力をします。「イチ、ニイ、サン」と心の中で号令をかけながら。

心から女房に感謝です

1973年28歳の時、2型糖尿病を発症し以来、他の人に誇るくらしいの病歴を経験しているが、平成22年にシャント手術を行い11月より透析導入となつた。

昔日のスポーツに明け暮れた時の記憶が無意識に身体を動かさうとするが、女房の手を借りなければ日々の生活には不自由なものがある。透析をしている沈黙の時間に、密かに女房に感謝し本エッセイを終了したい。

関戸 千尋さん



透析4年 (69歳)

NPO東腎協理事

優人大泉学園クリニック

とうじんきょう 活動の まど

第76回 全腎協関東ブロック会議 in 神奈川

日時：12月6～7日（土・日）
場所：横浜テクノタワーホテル

第1日目

はじめに開催県神奈川の岸上会長より参加者に歓迎の挨拶があり、続いて全腎協・金子常務理事より挨拶があった。

各県の活動報告について質問を受けた。

東京からは茨城県の災害見舞金について次の質問をした。災害見舞金・全壊2万円、半壊1万円、一部損壊5千円とあり災害見舞金規定があるのか、積立金をしているのか等を聞いた。

次に各県提案議題が討議された。はじめに全腎協理事推薦について、この提案は毎回神奈川県が率先して取り入れてきた議題で、今回各県からの全腎協理事推薦を強く要請された。主な理由としては最大の会員数があるにも係らず関東ブロックからの理事がないこと。活動・経費の観点からも関東圏で多くの理事を輩出することが望ましいとなった。

また、次期全腎協・関東ブロック長に關しても討議が行われ、かねてからの提案のあった馬上氏（神奈川県）が推薦され各県の参加者多数で承認された。

第2日目

一日目の続きで提案議題の質問を受けた。

東京からは終末期、特定除外制度廃止についての質問をした。当会員の透析中止の事例を報告し各県の状況を聞いた。長野では例が多々あるので元気なときに終末期のことを文章にしておいてはどうかと意見が出た。透析医学会や医師会等でも議論している最中で、今後の取り組みに注視が必要である。



第76回関東ブロック会議参加の皆さん

また特定除外制度の問題については全腎協の金子常務理事からも現在の状況の説明があった。入院基本料を算定する病棟に入院した場合在院日数が90日を超えると大きく引き下げられる診療報酬形態がある。この制度に対し透析患者は除外であったが廃止になり長期入院が難しくなった。国は在宅看取りの方向性があるので受け皿の確保を、今後も強く全腎協から国に要望していくことで各県の意見が一致した。

休憩後講演会が開催された。

介護施設説明会「これからの介護施設について」（新設）葉山湘南国際村シニアライフセンター医療法人社団清光会 土田真弘氏よりパワーポイントにて講演があり全室個室で透析者専用の入居施設についての説明があった。

随時見学と食事の試食もできる。頭金・入居金0円、月額利用料13万8000円（管理費・共益費・食費・家賃含む）※但し介護保険の自己負担分・介護用品・医療費・個人に係る費用は別途負担）閉会の挨拶を神奈川県久保副会長より発せられ閉会となった。

1・27腎臓病患者の 医療・生活の崩壊を 食い止める緊急集会

1月27日（火）午前11時から参議院議員会館で「1・27腎臓病患者の医療・生活の崩壊を食い止める緊急集会」が全腎協主催で開催されました。

この緊急集会は政府が超高齢化社会になる2025年に向けて飛躍的に増大する医療費や介護費を抑制するために①社会保障制度の

見直しと称して、入院食事代の負担引き上げ、入院ベッド数の大幅削減など長期入院を難しくして、入院医療から在宅医療へシフトさせ、②障害年金の年金基準を見直して、透析患者は2級から3級に引き下げて月々の年金を支給しないようにする、③また介護認定を厳しくして特養施設への入所を要介護3以上制限するなどして施設介護から在宅介護へ比重を移そうとしていることに反対して開催されたものです。

集会は「4つの要望」(前号参照)がまとめられていて、厚労省の担当の役人が10数名参加し、自民党から共産党まで多くの国会議員が激励に訪れて始まりました。

厚労省の報告では、混合診療に



1.27緊急集会(参議院議員会館)

つながる患者申出医療制度は保険外併用医療を希望する患者の思いにこたえるため、入院時食事代は入院医療と在宅医療との公平を図る点から見直ししたい、障害年金

多摩ブロック

防災体験してみよう

立川防災館 体験・見学会

2月8日(日)、東京消防庁の運営する本所、池袋、多摩の三防災館の一つで、立川市にある多摩防災館の体験見学会を行いました。生憎の冷たい雨の中、10人の参加で「地震体験室」「煙体験室」



AEDを使った救護体験

認定基準の見直しは透析患者は据え置き、腎移植患者は術後1年はそのまま、状況を見て認定するとの答弁がありました。

最後に、全国の患者の声を代表

「応急救護訓練室」の3体験をしました。

地震体験では、関東大震災並みの震度7の体験に思わず驚愕の悲鳴も出ました。煙体験では暗闇の中、身体を低くして壁伝いに逃げる体験、応急救護では人工マッサイジの仕方やAEDを使った救護体験に参加一同大変勉強になりました。予約をしてあったので、会

中南部ブロック

中南部ブロック・青年部 共催 新年お食事会

中南部ブロックと青年部共催で、2月15日(日)11時30分より「北の味紀行北海道飯田橋駅前店」にて27名の参加で新年お食事会を開催しました。

今回は個人会員さんが10名も参加してくれました。また、保存期

して、福島、熊本、岐阜、長野各県から意見が出たのち、集会アピールを採択して閉会しました。集会には全国から2000通のメッセージが寄せられました。

館のインスタクターが付いてくれて約二時間の有意義な「体験・見学会」でした。

災害緊急時の心掛け①「自分が透析者であることをはっきり言う」②「災害手帳、診察券、保険証、障害者手帳を携帯する」③「リン・カリウムなど食事を自己管理する」の重要性を改めて実感した一日でした。



中南部・青年部の皆さん

の方も参加され、ずっと心配していた事など、みなさんのお話を興味深く聞き、透析しても元気になっている姿を目にして少し安心されたようでした。

当日は「ざっくばらんにお話ししましょう！」をテーマに、青年部も一緒に治療や自己管理についての情報交換から、悩み、雑談まで色々と話しました。途中でビンゴゲームも行われ、さらに楽しい雰囲気の中、「あつ」という間に時間が過ぎ、次回の交流会、学習会でもまたお会いすることを楽しみにお聞きとなりました。

東部ブロック

第二回会員交流会

東部ブロック会員交流会が左記の日程で終了しました。
日時：平成27年3月8日(日)
13時～16時
場所：江戸川区グリーンパレス403号室
参加数：会員39名、理事7名、講師2名、合計48名

第一部 今回の交流会は、東部では関心の高い2つの患者会の看護師長さんと栄養士さんをお招きしての講演を中心に開催しました。



東部ブロック第2回会員交流会

会は予定通りに13時より中村理事の総合司会で始まり、続いて石井東部ブロック長の挨拶、そして二人の先生の講演に移りました。講師① 最初の先生は、浮谷章子看護師長(金町・嬉泉病院)。
演題 透析治療における自己管理について、質問応答含む約50分紙面を使つての熱弁をして貰いました。
講師② 続いての先生は、中尾優美子栄養士(亀戸・清湘会記念病院)。
演題 栄養と透析合併症について、スライド画面を使つての4ステップに分けてのお話、質問応答を含む約45分の熱弁、質問も9人の会員の質問があり、私達透析患者の

身近な問題として皆さん真剣にメモを取りながら聞いていました。
第二部 休憩(15分)を挟んで2部の方では、戸倉副会長の進行で災害対策を中心にスライド画面を使つての熱弁、各患者会の実態な

北部ブロック

大災害発生！ さあ、透析患者はどうしたら？

透析患者の「大災害時の対処」を学ぶ

◎日時：平成27年3月1日(日)
午前10時～12時
◎会場：板橋区立グリーンホール 4階402会議室
講演① 「透析災害時における自助・共助・公助」
講師：戸倉振一(東腎協災害対策委員長)
講演② 「医療現場の立場からの共助・公助」
講師：赤塚東司(医療法人赤塚クリニク理事長・日本透析医学会災害対策委員会副委員長、東京都区部災害時透析医療ネットワーク)

定刻の10時に榊原北部ブロック長の司会進行、開会挨拶で始まりました。続いて藤田会長挨拶を行

ど聞き意見交換し親睦を深めました。

最後に岸里事務局長の今後の東腎協に対しての協力をお願いを混じえた閉会の挨拶で2回目の交流会は終了しました。

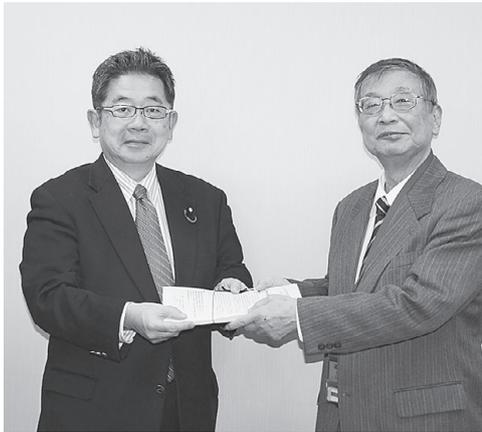
い、講演1の「透析災害時における自助・共助・公助」をテーマに戸倉振一災害対策委員長に講演をして貰いました。

講演の主旨は想定される災害は首都直下型地震で30年以内に70%の確立なのです。震度7になると何も出来ない。透析中に地震が起こった場合はベッドから落ちないようにすること。揺れが収まるのを待つてスタッフの指示に従う。肝心な事は自分で守る自助の心構えである。

講演2の赤塚先生は「医療現場の立場からの共助、公助」を話され、災害現場を指揮された経験から災害時に於ける患者と施設の対応策を実例を挙げて話されました。皆さん真剣に聞いておりました、時間が少し短く感じられる程で大変勉強になったと満足してお帰りいただきました。



初鹿明博・衆議院議員



小池晃・参議院議員

国会請願紹介議員

会派	氏名	衆参
自民党	秋元 司	衆議院議員
	平沢勝栄	衆議院議員
	石田昌宏	参議院議員
	松島みどり	衆議院議員
	山田美樹	衆議院議員
	赤枝恒雄	衆議院議員
民主党	長島昭久	衆議院議員
	松原 仁	衆議院議員
公明党	高木美智代	衆議院議員
	竹谷としこ	参議院議員
	山口那津男	参議院議員
共産党	笠井 亮	衆議院議員
	田村智子	参議院議員
	小池 晃	参議院議員
維新の党	初鹿明博	衆議院議員
	川田龍平	参議院議員

第44次国会請願に
全国から209名が集結

第44次国会請願は、3月19日（木）憲政記念館に全国都道府県の代表が集結して開催されました。紹介議員316名、来場議員28名、秘書41名、会員参加数209名（東京9名）でした。

主催者を代表して、NPO法人東腎協藤田吉彦会長が挨拶し、共催者として、東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課阿部敦子課長が挨拶しました。

第一部では、昭和大学医学部客員教授秋澤忠男先生が「腎臓病の予後改善を目指して」、川崎医科大学付属病院栄養部長市川和子先生が「慢性腎臓病予防のための食生活改善十訓」と題してご講演を

**第26回
腎臓病を考える
都民の集い**

日時：3月15日（日）
午後2時～4時
場所：都民ホール
（都庁議会議棟1F）

参加者：96名
（男性37名、女性35名、他24名）
主催：NPO東京腎臓病協議会
共催：東京都

署名数は東京1万4665筆（全腎協69万6952筆）、JPA東京1万4445筆でした。募金は東京155万8212円（全国168万5303円）/3月20日現在）でした。

東京からは藤田会長を団長とし



左から市川和子先生、鈴木吏良さん、秋澤忠男先生

いただきました。

第二部では、鈴木吏良さん（元NHKアナウンサー）の司会・進行で、講師の秋澤忠男先生、市川和子先生への質疑応答していただきました。CKD（慢性腎臓病）に日々不安を抱えている参加者からは、切実な訴えや疑問質問が出され、両先生からの丁寧な回答に参加者も頷いていました。

て梅原、石井、榊原、坂本、酒井、田崎、宿野部、板橋の9名の理事が参加し、13時から16時までの間衆参議員会館を訪問し、13名の国会議員に請願署名を手渡しました。（13名の紹介議員は別表の通り）

私と東腎協 ⑨



近藤儀明さん (67)

瑞江腎友会 (透析4年)

私は下町生まれ育ちの、江戸川区一之江の近藤と申します。

60歳頃まではどこも悪いところがなく、元気に動いていましたが、60歳過ぎた頃から疲労が残るようになり、63歳の時健康診断をやり医者から腎臓が悪いと診断され早速入院となりました。退院後は、家から近いこともあり、瑞江腎クリニックで優秀な、先生スタッフによる透析医療を受けています。

◆先輩仲間へ感謝！

透析仲間の皆さんも同じ思いだったと思いますが、最初はとても不安でした。情報が無いから透析医療費のことやこの先の生活はどうなる、心配が絶えませんでした。先輩患者さんから全国組織の患者会があることを知り、早速患者会の説明を受け入会しました。

現在の良き恵まれた透析医療制度を考えると本当に大変な活動だったと思います。保険制度が無い40数年前より、完全な透析医療制度確立まで、命と暮らしを守るため行政に対して訴え続けた先輩仲間へ感謝しています。年に何回か医療明細書が送られてきますが見るたびに、透析医療費を後退無く安心して透析を受けられるように、日の目を見ないで亡くなった多数の仲間のためにも、全国組織の患者会は絶対に守ることが大事だと思っています。

ここで私たちの患者会の事を話しておきます。うちの患者会は全患者の三分の一くらいです。大半は未加入の場合、

◎患者会に入ってもメリットがない

↓私達は商売していません。

◎足腰が悪いから活動できない
↓入会することが活動です。

◎患者会に入っていない人が多いようだから
↓自分のことです、よく考えて。

患者会の主な活動は理事・正会員を2名出しています。ある程度の情報は知ることができます。4月には総会と同じく患者会のお知らせ(機関誌)を年2回出しています。役員会は時期を見て年7回ぐらい。その他、クリスマス、新年会、各団体への参加などがあります。できるだけ交代で参加するようにします。

◆患者会では会計監査を

私も早いもので4年目の透析。現在は月水の午後で通院しています。定年を迎えてからの透析導入ですが、病院からはなるべく動いた方が良いとのこと、午前中2時間軽作業の仕事をやっています。昔だったら命のない身体です。良き透析医療制度によって、元気に生かされているこの命をどのように社会に貢献できるか考えています。日課として毎朝5時には起きて、散歩を1時間ぐらいやっています。

患者会活動は、透析導入後2年ぐらいたって役員さんに勧められ会計監査をしています。

また、町会の方では副会長もやり、少しでも世の中のため身体が続く限りがんばっていきたくと思っています。患者会活動もできるだけ頑張つて参加したいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

私と東腎協

10



田崎 勲さん (72)

新小岩クリニック友の会・船堀 (透析6年)

私にとって東腎協とは、必要なものである。仮に東腎協がなくなってしまう場合、次の理由で透析を受けることが困難になる可能性があるからである。

- ・ 透析医療費高額負担による金銭的な理由
- ・ 精神的な不安による透析治療放棄

現在、透析治療費全額自己負担の場合、毎月三十万から五十万円の医療費がかかってしまう。その金額が現在、一万から二万円の自己負担（私の場合）で透析治療を受けることができる。なぜ、そんなに優遇されたのか。一九六七年、まだ負担額は高額であったが、「健康保険適用」その後、一九七二年ついに「医療費自己負担額を公費負担」となる。

だんだんと優遇されてきたのは、東腎協と各団体の人たちが努力して辛抱強く国に説得した結果「透析医療費公費負担」が実現した

のだと思う。

精神的な不安による 透析治療放棄

私の場合、週三日で透析治療をうけている。朝から昼すぎまでである。最初は、自分は被害者で、「透析」という爆弾を体内に埋め込められ、その爆弾が爆発しないように応急処置を週三日受けていると思っていた。そのためか「死」という言葉に敏感になり残りの人生をあきらめ、「自分だけがなぜ、食事制限、時間の束縛の罰を受けなくてはならないのだるか」と悲観的になり、完治できない病院に反抗的なことを思っていた。態度にも出ていたと思う。

透析は高級エステ?

しかし現在は、その考えは一転した。「私

は透析治療を受けている。おかげで一般の人たちが受けられない健康診断を受けているのだ」「高級エステサロンに週三日も通っている」と考えが変わったのである。

きつと考えが変わった理由は東腎協の活動や成果、会員に対しての心遣い。「新小岩クリニック」の先生、看護師の一生懸命に努力している態度が分かったからであると思う。

私は若いころから事業を営み、音響機器の販売。内装業の会社を経営してきた。現在は後継者に引き継ぎ時間の余裕もある。趣味である旅行は治療があるため諦めていたが、病院仲間たちとの旅行は看護師さんの同行もあり安心して行くことができる。他にもいろんな行事などもあり、とても楽しい時間を過ごすことができる。それも東腎協や病院が努力してくれたおかげで実現できることだと思う。

東腎協のために尽くしたい

これから私は東腎協の役に立ち透析患者、これからの後輩たちのために、「透析医療費公費負担」の維持活動をしていきたいと思っている。賛同者の獲得、会員確保のためのピラ配りなど私ができることは、これからもして行くつもりである。

十年、二十年後、医学の進歩で透析治療が不要になる時代が来るかもしれない。とても喜ばしいことではあるが、まだ現在では、透析治療が生命維持である。その日が来るまで東腎協は絶対必要であると思う。

わたしたちの患者会

46

にこたま会

クリニック名

二子玉川駅前クリニック

所在地

〒158-0094世田谷区玉川2-24-24

セゾン玉川1階

電話番号 03-3708-1166

に、東腎協、全腎協と連携して対応していきます。

◆会報

「にこたま会だより」は主に役員会の内容と行事のお知らせを中心に必要に応じて発行されます。

◆会員数

平成27年4月現在22人、これは

総患者数80人の27・5%でかなり低いと考えられます。5年前に比べて会員数は半減しています。

新規導入患者の高齢化と透析医療に対して、現在の体制が当然という認識によるものと思われます。

◆今後の課題

透析患者の高齢化に伴い、会員の行事参加率の低下及び会員加入率の低下が問題です。

◆東腎協への意見

中南部ブロックの各患者会との交流会・勉強会などに積極的に参加して、交流を深めていきたい。

◆役員会から一言

役員一同は各行事に一人でも多くの会員が参加できるよう努力しております。これからも会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

◆会長

長井久美子

◆会設立

平成15年1月

◆会費

患者会2400円、東腎協5400円

◆役員体制

会長1名、副会長1名、会計2名、監査役1名、曜日役員月水金(朝)2名、(準夜)1名、火木土(朝、昼)1名、(準夜)無し(会員がいないため)

◆会行事

○総会(4月ないし5月)

○勉強会(秋、総会後も)

○新年会(2月ないし3月)

◆役員会

必要に応じて(年3~4回)

◆会の目的

会員の親睦を図ること。ただし

会員の親睦・結束を目指して、透析医療行政

災害対策などの変化に、東腎協・全腎協と連携していきます



写真(上) 前列右より
長井会長、今井利一院
長ほか会員の皆さん

会員数の低下により会の行事に対する参加率は低下傾向にあります。

◆会の特徴

会員の親睦・結束を目指して透析医療行政、災害対策などの変化



練馬区と「災害時における透析患者搬送に関する協定」を締結

伊藤絵利子
(すずらんの会事務局長)

平成二十七年二月二十六日、特定非営利活動法人腎臓病連絡協議会すずらんの会は、練馬区と『災害時における透析患者搬送に関する協定』を締結致しました。出席者は、練馬区地域医療課佐古田課長以下二名と、すずらんの会高山会長、事務局長伊藤、東腎協板橋氏の計六名。

本協定の概要は、かかりつけ医が被災し、透析医療が受けられない場合に、平時と同じ送迎手段が取れない患者を練馬区が区内の緊急透析施設に受入れをします。そ

の際の担い手として、練馬区は区内の自家輸送を行っている透析施設や、透析患者会が行っている送迎団体に依頼する取決めです。本協定により、透析送迎を行う施設や透析患者会は、緊急通行車両登録を区から警察に申請をしてもらう事が出来るようになりました。また、災害時にはガソリン優先供給を受けられるように検討してもらえるようになりました。

すずらんの会は透析患者会として、災害対策や透析送迎事業を行っています。災害時の透析患者対策については、平成十四年から練馬区防災課へ緊急通行車両登録の申し入れをしています。登録には、練馬区と災害時に協力し合う関係



左から佐古田課長、高山会長

と警察から認められる事が条件の為、訓練を重ねて来ました。外出時の避難訓練。被災透析施設から透析を行える地域への搬送訓練。災害伝言ダイヤル利用訓練。避難拠点から災害拠点病院への搬送訓練等。

平成二十三年の東日本大震災、練馬区内は透析施設の被災は免れましたが、ガソリンが不足しました。練馬区防災課へ透析患者送迎の為のガソリン確保に苦勞しているのを、助けて欲しいと申し入れましたが、緊急車両への供給にも苦勞しているのを、独自に工面して欲しいと断られました。練馬区は昭和六十三年に石油業協同組合と燃料の優先提供の災害時支援協定を結んでいましたが、協定は活かされなかったのです。その後、二つのガソリンスタンドからの申し入れがあり、練馬区地域医療課は透析患者等の送迎への優先供給を開始しました。実に発災から一週間が過ぎていました。

それ以降、すずらんの会は、申し入れ先を練馬区地域医療課へ変更し、緊急通行車両登録と災害時のガソリン優先供給の協定を求め、今回の協定に至りました。また時

を同じく、練馬区地域患者会が立ち上がりました。行政・透析患者・透析施設・送迎団体の四者が協議を進めます。今後来るであろう災害への対策が、やっとスタートを切りました。

練馬腎患者ネットワークの災害対策

坂本悦男

(練馬腎患者ネットワーク議長)

三月八日(日)、昨年竣工した練馬駅北口のココネリホールにおいて、練馬区後援の下で透析患者のみを対象とした防災の勉強会を開催しました。主催は練馬腎患者ネットワークと名付けた、練馬区内の東腎協加盟の四つの患者会(高松病院患者会、東海病院ひまわり会、優人大泉学園クリニック患者会、練馬桜台クリニック患者会)で構成する任意団体であります。練馬区内には約1300名の透析患者の方がいると区地域医療課では言っておりますが、この四つの患者会のある病院での患者の方の数は約600名ほどと思われます。東腎協にはもう一つの病院の患者会も加盟しておりますが、そこは私どものネットワークには

参加しておりません。

私どもの患者会ネットワークの目的は、患者が身近なものとして、いる諸問題を患者自身の立場から何とかしてみたい、と始めたものです。第一回目の勉強会として自分たちの防災をテーマとしました。

9時45分開始。練馬区地域医療課佐古田課長、東腎協藤田会長の挨拶。最初の講演は練馬消防署司令石田享氏の「地震に備える」というテーマで、震度6強以上の時の練馬区の状況と消防の対応についての話でした。結論として、大災害時消防は救急のけが人を火災対策で手一杯となるので透析患者の移送など全く出来ない。何より



練馬腎患者ネットワークの勉強会

「自助」「共助」で立ち向かって欲しいとのことでした。

次に練馬区地域医療課係長本橋隆春氏の「区の災害対策」についての要旨は透析患者にとって重要な問題は二つあり、(1) 病院の状況を知り、どこが透析が出来るところかを知ること(2) 透析をすることのできる病院に行く足の確保と、認識している。

そのために区は区内の医療施設との非常時のネットワークを構築しているが、問題は我々患者がその情報をどう入手するかであるかと指摘する。基本的にこれらの情報の拠点となるものが区内に設置される「避難所」(小中学校になる)であり、ここにはすべて区役所の中核との連絡用の設備があり、情報も物資もこの避難所を軸にして私どもに流れることとなる。それだけに透析者は自分で病院と直接連絡とれなければ避難所に行くことが重要だ、と説明して下さい。

最後に災害時の透析拠点病院となる東海病院江本秀斗院長より、拠点病院としての病院の能力、設備の説明及び災害時の透析についての説明を受けた。透析自体は設備が動くから変わるわけではない

が、透析患者の生活の心構えが指摘された。直近の透析からの経過によって自分の状況を把握すること、透析を待っている間の食事に気を付けること、出来るだけ早く自分の病院での透析の可否情報を得るようにすることである。

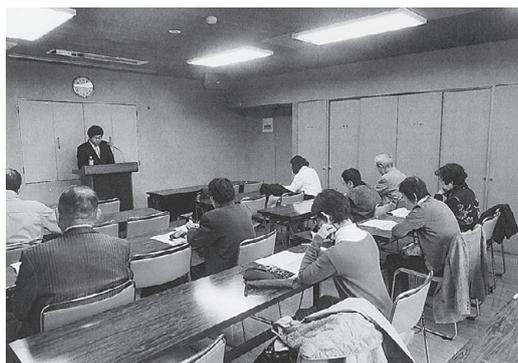
災害が起きたとき、今までの透析周期が崩れてしまうことになるから、何より自分の体調を保つようにに生活し、決して極端な行動や食事をしないようにしなければならぬとのことでした。

100名の出席を予定していたのですが、79名の方が集まってくれました。9時45分から12時までの短い時間でしたが、皆様真剣に講演を聴いて下さり、盛況のうち閉会しました。主催者として本当の意味の地域的な患者会の活動が出来たものと納得しております。次回も我々の身近な関心事をテーマに勉強会を開催していきたいと思えます。

勉強会&お食事会

にこたま会

平成27年3月29日、世田谷区上野毛地区会館において、にこたま



「東腎協について」語る岸里事務局長

会の勉強会が開かれた。講師は東腎協の岸里悟事務局長、テーマは「東腎協について」で、その成立から現在抱えている問題まで幅広く、でもわかりやすくお話しいただいた。特に「1、27緊急集会」については東腎協、全腎協の果たしている役割について理解を深める一助となった。1時間半のお話と質疑応答30分と充実した勉強会だった。

その後、二子玉川高島屋のレストラン「ヴェルテスパ」に場所を移した食事会には、二子玉川駅前クリニックの今井利一院長も参加してください、さらに話が弾み、午後3時閉会した。

会員の出席は勉強会9人、食事

会7名だった。

● 大田病院透析室40周年を 向かえて

大久保安男
(大田病院腎友会会長)

当病院の透析は1975年(昭和50年)5床で始めて、現在では専門病棟で40床になりました。患者数は90名で、透析日は3交代(月、水、金の「昼と夜」、火、木、土の「昼」)で透析をしております。患者会としては30年前に先人たちの英知と努力によって基礎固めが作られ、さらに病院関係者の後押しにより「腎友会」が出来ました。今回の40周年記念行事で、患者会から透析30年と25年が各1名、20年2名の4名が永年透析患者として表彰されました。



勉強会に参加の皆さん(前列中央が橋本さん)



大田病院全景

私たちの腎友会は役員一同、この組織を発展させるために、毎年目標を作り活動しています。今年度の目標は地震対策、医療向上対策と各行事の充実を目標に活動しています。

また、年4回の会報「しおさい」を発行しています。この会報は3〜4ページの内容で、その時期のニュースや患者の近況報告、そして病院関係の状況等を記事にして発行しています。

さらに、年末年始と季節ごとに病院の協力によって行事を遂行し、秋には年1回のバス旅行を実施しています。このバス旅行は病院の担当者と患者会担当者で協力して、病院関係者との親睦と融和、そして絆を深めることを目標に進めています。

患者の有志による勉強会としてパソコン教室を開いています。勉強会は月3〜4回水曜日の午後2時間ほど病院の会議室を利用して行っています。そのことで「しおさい」の品質向上を図り、また腎友会カレンダーを毎月の初めに発行して、各担当者に活動の確認をしています。

また月1回、病院担当者と患者会の4役員会担当者で懇談会を行っています。我々患者の福祉並び

社会的条件の向上めざし、またよりよい透析医療を受けられるよう意見交換をしています。

役員会は年4回開催して、4月には総会を開き、役員人事、年間の活動報告等を審議し、決算報告や予算報告を発表しています。

東腎協に30万円寄付

最後に会員の橋本養三氏より、東腎協に30万円の寄付があったことを報告させていただきます。



● 恋の傷

いくつ重ねて

冬花火

鈴木みさ子(市川市)

私は昨年の7月まで都内にて透析の仕事をしておりました。時々東腎協の雑誌を拝見させていただき勉強になりました。一度「書」が載っていた記憶があります。今回送らせていただいた書は、筆法が少々珍しいのですが?と思いましたが、いかがでしょうか。皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

施設紹介

医療法人社団 順洋会

武蔵野総合クリニック練馬

「一人でも多くの患者様の力になりたい」
医療・看護・介護のトータルケアに力を入れて

私たち順洋会グループは、「すぐそばに。ずつととにも」という理念を掲げ、どんな病状の方も、どんな年齢の方も、どんな悩みや不安を抱えた方も、あらゆる方の人生に寄り添ったサービスを提供しております。

1999年、武蔵野総合クリニック（清瀬本院）を開院してから、理事長・下村洋が特に力を入れてきたのが、24時間365日で患者様をお支えする在宅診療です。病院ではな

く、住み慣れたご自宅で、豊かに人生を全うしていただきたいという思いから、15年以上にわたって診療を続けてまいりました。訪問看護ステーションと連携しながら、ターミナル期の患者様の在宅療養生活にも関わり、早朝・深夜のお看取りも多く引き受けております。実績が評価され、「武蔵野総合クリニック」は「機能強化型在宅療養支援診療所」の認定を受けました。

在宅医療・在宅介護の充実のため、順洋会で運営している介護付き有料老人ホームは、市内唯一の24時間看護師常駐施設です。ほかのどの施設でも受け入れを拒否されてしまう、医療依存度の高いご入居者様が、当ホームを選んで下さいます。

「困ったときは順洋会さんに」と言っていただけののが私たちの誇りです。「医療や介護のことで悩んだり苦しんだりする患者様、ご利用者様、ご家族様が、安心できる地域にしたい」「一人でも多くの患者様の力になりたい」という思いをスタッフ一同共有しています。

4月からは、医療連携・地域包括推進室という部署を設置し、病院完結型の医療ではなく、地域で患者様を支える「地域包括ケアシステム」の推進のため、医療・看護・介護のトータルケアに力を入れています。

私たち順洋会の理念と

透析室を立ち上げるまで

順洋会の理念は、全人的な医療サービスを提供すること、ひとりの患者様が生まれてからお亡くなりになるまでを順洋会で責任を持つてお引き受けすること、です。

今から2～3年前、当ホームのご入居者様で、透析治療が必要になった方がいらっしゃいました。ご本人は、治療を受けながら当ホームで過ごしたいとおっしゃってくださいいま



武蔵野総合クリニック練馬

したが、私たちには透析治療のノウハウがありませんでした。主治医、看護師、施設長、ご家族様とも何度も話し合いを重ね、ご本人の希望に叶う方法を模索しましたが、食事の管理や、専門医の不在等を鑑みた結果、透析クリニックへ転院をされました。

この経験は、私たちにとって、本当に辛い悔しいものでした。どんな病状の方も最期まで責任を持ってお受けするのが順洋会の理念です。医療・看護・介護のトータルケアを推進し、充実した在宅医療・介護サービスを提供することを使命としているのに、自分たちの努力不足で、それが全うできなかったのです。

清潔な透析ベッド



透析治療というのは、私たちにとって全く未知の分野ではありませんでしたが、「困ったときは順洋会さんに」と言ってくたさる多くの患者様の期待にお応えするため、新しい分野に挑戦することにいたしました。

あきらめない、くじけない 名前に込めた私たちの思い

わたしたちのグループ名である順洋会という名前は、理事長が医師として技術のすべてを培った「順天堂大学病院」の順から一文字をいただいています。

当時、理事長が小児外科医という道を選択

明るい透析室内



し、順天堂大学病院に入局したのが1980年。日本で初めて小児外科という講座が開設されてから、わずか12年後のことでした。

新生児や未熟児は、身体中のあらゆる臓器がおとなとは比べ物にならないほど小さく、非常に繊細な技術が必要となります。まだ十分ではない知識を得るため、分厚い研究書を何十冊も読み込んだり、診療の合間にあちらこちらの学会や勉強会に参加したり…。

医局内には、両掌につつまこまれてしまうような、小さな赤ちゃんの命を救うための、赤ちゃん用の医療器具がないこともありました。予算もない、知識もない、人手もない。それでも、生まれてきたかけがえない小さな命を救いたい。その一心で、多くの医師たちが小児外科という新たな専門分野の黎明期を支え、ゼロをイチにする努力をいくつも重ねてきたのです。

「順」という字には、「あきらめない」「くじけない」という、理事長の強い思いが込められています。どんな困難にぶち当たっても、ひとりひとりの小さな命を救うために決して弱音を吐かず、努力を惜しまなかった、小児外科医としての矜持が込められています。

「やれない」「できない」ではなく、「やってみます」「任せてください」と、患者様やご利用者様の思いに添えていく。

順洋会のシンボルである「鳥」は、平和や幸せの象徴です。私たちは、順洋会の理念を地域にはばたかせ、すべての患者様・ご利用

者様に幸せをお届けしていくことを使命とし、
今後ますます精進してまいります。

駅前・手ぶら・最新の設備 順洋会の透析室の特長

①練馬駅前徒歩1分

治療のために生活があるのではなく、大切な日々の生活を豊かにするために治療があります。清瀬本院も駅から徒歩2分ですが、患者様の生活を壊したくないという思いから、分院も「駅前」に徹底してこだわりました。「武蔵野総合クリニック練馬」は、駅から近いだけでなく、商店街の中にあるので、買い物にもとても便利です。日々の生活を楽しみながら、安心して治療を受けられるクリニック。私たちは、そんなクリニックを目指しています。

②手ぶら透析

「まるで銭湯かサウナみたいだね」。見学にいらした方におっしゃっていたいただきました。当院では、バスタオル、タオルを無料で貸出しております。また、ご希望の方にはパジャマの貸し出しも行っています。都営大江戸線・有楽町線・西武池袋線が乗り入れる練馬



練馬駅も近く

③最新・安全の設備

水の綺麗さには徹底してこだわり、最新・最高品質の水浄化システムと透析液精製装置を取り付け、透析用水の超清浄化を行っています。1人1台に設置されたテレビでは、DVDの視聴も可能です。一流ホテルと同じ品質のベッドをご用意しましたので、十分にくつろいでいただけます。災害時や有事の際には、患者様の受け入れを行えるよう地域と連携もしています。

④手厚い医療連携

当院長を始め、知識豊富な明るいスタッフが、毎日ハツラツとみなさまをお迎えしています。一般外来として、内科・外科・耳鼻咽喉科・循環器内科・腎臓内科の診察も受けられ、順天堂大学医学部附属練馬病院院長児島教授による外来診察も行っています。24時間365日による在宅訪問診療も行っており、患者様の健康をトータルでお支え致します。



医療法人社団

順洋会 武蔵野総合クリニック 練馬

人工透析・内科・外科・耳鼻咽喉科

TEL03-3993-7015 東京都練馬区練馬 1-26-1

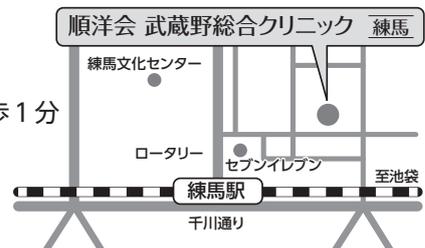
24時間 365日在宅診療

順洋会 検索 <http://www.6340-group.jp>

駅前徒歩1分・送迎無料・タオル無料貸出

西武池袋線
西武豊島線
西武有楽町線
都営地下鉄大江戸線
練馬駅北口下車徒歩1分

見学随時受付中



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 8:45 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	—	○
午後 13:45 ~ 17:30	○	○	○	○	○	○	—	○

「ご寄付お礼」

【賛助会員】

○扶桑薬品工業(株) 東京第一支店様 (1月～2月)

【患者会】 30万円

大田病院患者会 橋本養三様

ご寄付ありがとうございます。ございました。

「青い鳥はがき」

身体障害者(1級・2級)の方は一人20枚のハガキを無償で受け取ることができます。

まだ申請をされていない方は、お近くの郵便局窓口へ身体障害者手帳を持参し、必要事項を記入して申請してください。代理人でもできます。(身体障害者手帳持参)平成27年4月1日～6月1日まで

【訃報】

吉澤正雄さん(よしざわまさお) 理事2015年3月2日逝去。享年63歳。新小岩クリニック船堀。2005年から東腎協常任幹事、2006年～2014年東腎協理事
 麓 卓治さん(ふもと たくじ) 元理事。享年66歳。優人クリニック患者会。2012年～2013年東腎協理事。

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年(昭和47年)11月19日、東京都腎臓病協議会(現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会)を結成しました。結成から41年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもうらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えていただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、
 団体年額 10口10,000円／10口以上
 ※年1回名刺広告を機関誌「東腎協」に掲載させていただきます(但し、継続でも初年度1回のみとさせていただきます)。



久保正業さん(くぼ まさなり) 元常任幹事逝去。享年60歳。松和患者会新宿南口支部、1994年から東腎協常任幹事、2006年～2011年東腎協理事。
 ご逝去されました皆様からご冥福をお祈り申し上げます。謹んでお知らせ申し上げます。

今後の活動予定

- 4月26日(日) 第109回理事会(B2)
- 5月16～17日(土・日) 2015年度全国大会 in 長崎
- 5月24日(日) 第110回理事会(児童室A)
- 5月25日(月) JPA・国会請願(一般社団法人日本難病・疾病団体協議会)
- 5月30～31日(土・日) 全腎協第2回定期社員総会(東京)
- 6月14日(日) 東腎協第10回総会(A1・2)
- 6月26～28日(金～日) 第60回日本透析医学会学術集会・総会
- 6月28日(日) 第111回理事会(B2)
- 7月4～5日(土・日) 全腎協・全国事務局長会議(アワーズイン阪急)
- 7月5日(日) 多摩ブロック正会員会議(武蔵野公会堂)
- 7月19日(日) 東腎協第5回大会(アルカディア市ヶ谷「富士」)
- 7月18～19日(土・日) 関東ブロック in 栃木
- 7月25～26日(土・日) 関東ブロック青年交流会 in 長野
- 7月26日(日) 第112回理事会(A3)
- 8月23日(日) 第113回理事会(C2)
- 8月29～30日(土・日) 全腎協・全国青年研修会(アワーズイン阪急)
- 9月27日(日) 第114回理事会(C3)
- 10月4日(日) 第35回臓器移植普及推進キャンペーン
- 11月7～8日(土・日) 全腎協・通院介護研修会(アワーズイン阪急)
- 11月28～29日(土・日) 全腎協・臨時総会(大森東急イン)

表紙の作品募集

機関誌「とうじんきょう」の表紙に、会員の皆様の作品を掲載いたします。絵画、陶芸、手芸、料理、…何でも構いません。

募集時期

随時募集

応募方法

出来るだけ作品を写真撮影して、プリントと作品コメント（400字以内）を添えて郵送してください。

謝礼

採用の際には薄謝（図書券）を呈いたします。

投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。「なかまのたより」に投稿の方、内容は問いませんので、何でもお寄せください。

編集部員（アルバイト）募集

機関誌「とうじんきょう」の編集部員（アルバイト可）を募集しています。編集経験者、パソコンの出来る人、興味のある方も大歓迎、事務局までご連絡ください。東腎協事務局（豊島区南大塚2-40-11富士大塚ビル2F）

編集後記

○国会請願署名・都民の集いが一段落したので総会の準備です。この冬は多くの会員の訃報を心に留め、この冬を乗り切れことに感謝し、腎臓病患者のためにできることと頑張っけて行きたいと思う今日の頃です。（岸里）

○新年度が始まった。年々減少する会員数や委縮気味な会活動を活性化する「三年中期ビジョン」の準備が進んでいる。NPO東腎協定款に基づく社会貢献活動に見合う組織づくりと「安定した会員数4000名以上」を常に堅持し、強い財務体質を築くことを目指すことを目的とする「中期ビジョン」である。新たな気持ちで新年度からの活動に臨みたい。（板橋）

事務局雑感

○「中南部ブロック新年お食事会」「個人会員会議」「腎臓病を考える都民の集い」のお手伝いをしました。会員の方々と直接の交流ができる数少ない機会です。会員の方達も、日頃疑問に思っていることとお尋ねになったり、有意義だ

ったと思います。ちょっと面倒くさかったりしますが東腎協の催しに足をむけて下さい。きっと何か得るものがありますよ。（長井）

○昨年春、消費税が8%に引き上げられたのは、「増加分は社会保障に充てる」という話だったはず。ところが平成27年度予算では医療年金等の社会保障については総額3900億の削減。話が違う。この内閣、弱者に対してはまことに冷たい。猛省を促したいがどうも聞か耳持たぬ。「戦争立法」作りで頭がいっぱいなのだろう。（白）

○今回、会員になって長いながら、初めて個人会員会議に参加させて頂きました。

当日の天気は、肌寒くて小雨。受付をやりながらの参加でしたが参加者も多くて、皆さんお元気で

したね。患者会は、病院単位ということですが、この時代、なかなか患者・病院をまとめるのは大変なので、個人会員で大きな組織にしたらどうなのかと思いましたが、最後に、ケーキと珈琲、大変美味しかったです（特にチーズケーキが）。有難うございました。（榎永）

前号の訂正とお詫び
○冬号「私と東腎協⑦」の加々見俊六さんは、加々美俊六さんの間違えでした。訂正してお詫び致します。
○冬号年賀広告「菊川橋クリニク腎友会」の役員のお名前に誤りがありました。次の様に訂正してお詫び致します。石井乙雄↓石井乙津雄、小島英治↓小島英治、佐野恵津子↓佐野恵津子、牛島実常↓牛嶋実常、追加↓嶋田孝次

表紙のことば

齊藤 寿江さん
(透析歴33年・83歳)
吉祥寺クリニック



透析前に始めた趣味の木彫を体調の優れない日もコツコツと続けてまいりました。いつの間にか作品は数えきれないほどになってしまいました。素晴らしい先生と素敵な仲間にも恵まれ、稽古の日が楽しみになっております。これからも体の続く限り頑張りたいと思っております。



海外客船内で透析を受けながら
クルーズ旅行に出かけてみませんか？

世界最大級客船 22万トン

アリュール・オブ・ザ・シーズ号で行く

東カリブ海クルーズ

添乗員同行 9泊11日間の旅

438,000円～540,000円

※港湾税・諸税、燃油サーチャージ、出入国税など 88,000円～103,000円、
医療情報処理費用（予約後返金不可）32,000円が別途必要となります



- 透析の回数は、3回（火・木・土）を予定しております。
変更になる場合も御座います。
- 各寄港地への滞在時間などはお問い合わせください。
- 寄港地では船会社主催の寄港地観光にご参加頂けます。（有料）
- 旅行代金は2人部屋を2名で利用した場合の1名あたりの代金です。
- 透析患者様1名に対し、1名以上の同行者の参加が前提となります。
- 船会社へのチップは含まれておりません。下船時にお支払い頂きます。
- 参加を希望される方は事前に透析クルーズに関するご注意事項をお渡ししますので、記載内容に御了承頂いた後のお申し込み受付とさせていただきます。
- 現地医療機関へ透析に関する血液データ等の書類を事前に提出する必要があります。必要資料はお申し込み時にご案内いたします。

■出発日/ツアー代金 別途透析費用:245,000円

11月7日 出発限定	内側客室	海側客室	海側バルコニー客室
	43.8万円	48万円	54万円

※事前客室指定はできません。海側客室は一部視界が遮られる場合がございます

■スケジュール

1	11/7	成田発、空路アメリカ国内にて乗換フォートローダデルへ フォートローダデル到着後、現地係員がホテルへ送迎致します。
2	11/8	フォートローダデル港にて乗船手続きを経て船内へ フォートローダデル港を出航
3	11/9	パハマの首都ナッソー
4	11/10	終日航海日
5	11/11	米領バージン諸島にあるセントトーマス島の中心地 シャーロットアマリー
6	11/12	セントマーチン島の“フィリップスバーグ”へ
7	11/13	終日航海日
8	11/14	終日航海日
9	11/15	フォートローダデル港にて下船 下船後、現地係員がホテルへ送迎いたします
10	11/16	午前、現地係員が空港へ送迎いたします フォートローダデル発、空路アメリカ国内乗換帰国の途へ
11	11/17	成田到着 解散

■利用予定航空会社：デルタ航空、ユナイテッド航空、アメリカン航空、全日空

■船会社：ロイヤルカリビアンインターナショナル

■利用ホテル：コンフォートスイーツ、ホリデイインエクスプレス 又は同等クラス

■添乗員：有り ■最少催行人数：3組6名（最大5組10名）

■ツアー催行確定時期：8/7



上記に掲載したコース以外にも
以下のツアーをご用意しております。

コースの詳細・料金につきましてはお問い合わせください。

- 10/3 出発 インディヘンデンスオブサシーズ号
西カリブ海クルーズ
- 10/24 出発 インディヘンデンスオブサシーズ号
東カリブ海クルーズ

海外クルーズ注意事項

- ツアー代金・内容及び諸条件は予告無く変更となる場合がございます。予約時に必ず御確認ください。
- 旅行条件 運送約款を説明した書面をご用意しておりますので、事前に御確認の上お申し込みください。この条件に定めのない事項については、当社旅行業約款によります。
- 天候やチャーター運行、その他やむを得ない事由により、事前の予告なしに運行の中止やスケジュールの変更、寄港地の変更、寄港地での滞在時間の変更などの可能性があります。ご了承ください。
- ご予約の変更および取消に関わる取り扱い手数料につきましては弊社ホームページにて御確認ください。取消料をカバーする保険（クルーズ旅行取消費用担保特約付海外旅行傷害保険）も御座います。クルーズ旅行と一緒に申し込みをお勧め致します。
- パスポートの有効期間及びビザの有無等は、事前にお客様ご自身で大使館などに御確認ください。代行申請も承っております。
- 訪問先の安全情報に関しましては外務省のホームページをご覧ください。

旅行企画・実施

株式会社アイエシトラベル クルーズ事業部

TEL:03-6852-8377 FAX:03-6852-8380

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 12階

営業時間 月～金/10:00～19:00 土/10:00～17:00 日祝休業

IACET トラベル
客船旅行をもっと身近に Enjoy Cruise Trip

頑張っている自分へのご褒美に 低カリウムプレミアムレタス

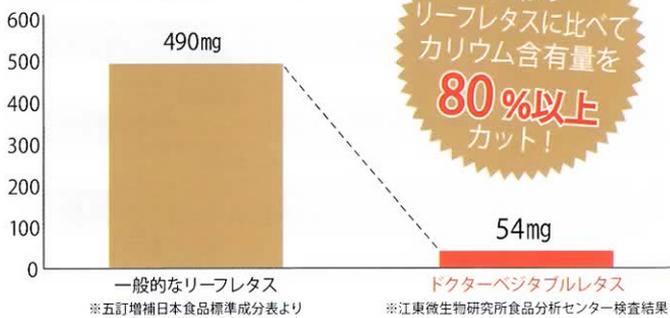


甘くてシャキッとした
食感をお楽しみ下さい!

ドクターベジタブルは、美味しさや栄養素を損なうことなく、
カリウム含有量を80%以上カット。

カリウムの摂りすぎを心配される方でも安心して食べられます。

カリウム含有量比較 mg/100g



専門家のコメント

ドクターベジタブルは生野菜が苦手な方やカリウムの摂りすぎを心配される方の食生活をサポートする機能性野菜です。一般のレタスよりカリウムが少ないため苦味が抑えられており、レタス本来の美味しさを追求でき、健康促進の手助けとなります。



東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
栄養部所属責任者
栄養管理士 湯浅愛先生

全国の百貨店やスーパーで販売中
詳しい販売店については、ホームページか
フリーダイヤルにお問い合わせください。

フリーダイヤル オヤサイ ハッピー
012-0831-82

ドクターベジタブルジャパン株式会社



今後のラインナップ

低カリウム野菜や果物も続々開発中!! 随時お客様にご提供させていただきます。ご期待ください!



低カリウムメロン
期間限定発売



低カリウムトマト
研究開発中



低カリウムいちご
研究開発中